

県内外のベタンク愛好者をつなぐ

彩の国ベタンク通信

VOL 7

発行者：埼玉県ベタンク協会

企画・編集：広報部（中村）

Tel・Fax：048-536-6939

omoikkirifatoj3@nexyzbb.ne.jp

【24年度に向けての活動の心構え】

埼玉県ベタンク協会理事長 井上 勇司

寒さも和らぎ少しずつベタンク日和になってまいりました。埼玉県も皆さんのお陰でベタンクを楽しんでいただける方々が着実に増えてきております。そして県組織も会員の福祉を基本に充実してまいりました。まだまだ進行形ではありますが役員の皆さんのボランティアによって生き生きと楽しく活動が展開しております。

次年度は埼玉県を取り巻く環境も色々と変わってくるでしょうが、その流れにも沿いながら私たち自らも変えていくという心構えで活動していきたいものです。そして喜びも悲しみも分かち合える仲間を作っていけるよう頑張りましょう。

2月の選手会の活動について

2月12日(日)深谷市・もくせい館において、2011年度最後の選手会の講習がありました。午前中は、選手会会員の個々の投球フォームをビデオで撮ってから現在までに、1人1人が目標に向かって努力をし、できたこと、努力中のこと、実行してみてどうであったかなど、約1年間の成果について、1人ずつ発表し、他の人も発表を聞きながら模索していたことに気づいたり、共に学び、それを踏まえて、さらに練習をしていくという考え方を改めて確認しました。分かり切ったことですが、改めて考えると理にかなった方法であると思います。私は基本的な動作が身に付いていないことを反省し、自身のフォームを見直しながら、少しずつ努力していきたいと思いました。

その後、1チーム3人の組み合わせをし、個々にベタンクでの得意なことを書き出し、3人で相談をして、ポワンテをする人、ティールをする人、ミリューの人、とポジションを決めました。

チームで戦術を練り、それに基づいて、室内ベタンクボールで相手チームと一人1球での模擬対戦をしました。試合の時にはチームでよく話し合い、考えを一つにしていくことの大切さ等のチームワークを改めて考える有意義な内容でした。

選手会で共に学ぶことの素晴らしさを感じ、共に学べることに感謝します。

会員の皆様、選手会は何時でも入会できますので、参加して共に学んでみませんか？！ (選手会 綾部 栄子)

選手会岡山遠征を終えて

去る3月17日～19日にかけて、埼玉選手会の精鋭32人が、バスで岡山県総社市にあるサントピア岡山総社で開催された第2回サントピアクラブカップベタンク大会に参加して来ましたので、その報告を致します。

昨秋の選手会で、遠征が企画されてから半年余り、待ち遠しい日々が続きました。ほぼ月1回の選手会に参加し、そこで学んだことを持ち帰って、それぞれの地域で熱心に練習した成果をこの遠征で十分に発揮したい、そう考えた参加者が沢山いたと思います。



3位「埼玉Eチーム」の予選風景

17日朝6時に集合、川本を45分遅れの6時45分に17人が乗り込んで出発、途中坂戸駅で15人を乗せて、一路岡山に向かいました。

選手会会長と理事長の車中挨拶を受け、「レベルの高い岡山の選手と質の高い試合をすること。そして何よりも岡山の選手と交流して試合を楽しむこと。その結果として、優勝を勝ち取ること(目指すこと)。」を肝に銘じました。

中央高速道路は順調でしたが、名神高速に入り渋滞にはまり、予定を少し遅れて17時に到着。到着してすぐに、サントピアクラブの皆さんにご挨拶をして、肩ならしをしました。難しい砂利テランでした。

6時から、夕食を兼ねて歓迎会を行ない、各チーム紹介と決意をし、和やかな歓談の内にも明日の事を考え、9時にお開きとなりました。

翌朝、8:00に受付をして、抽選。6~8人が1チームとなって、3組のダブルスが1チームとして同時に対戦し、3勝か2勝1敗でチームの勝利となる試合形式で行われました。試合形式は卓球やテニスの団体戦に似ています。

埼玉から5チーム、地元岡山から11チームが参加しました。4チームが1ブロックの予選を総当たりして、2位まで決勝トーナメントに進みました。埼玉の5チームは、予選は順調で、3チームが3戦全勝で決勝トーナメントに進みました。決勝トーナメントでは、初戦を埼玉Eが辛くも2勝1敗で準決勝に進み、埼玉CとDは準々決勝敗退でした。決勝戦は、残念ながら岡山のチーム同士になってしまいました。優勝は地元「サントピア&ルージュ」で2連覇、2位は笠岡クラブ&鴨方でした。埼玉Eチームは3位決定戦を制し、3位に食い込みました。4位はサントピア フレンド。私が参加した埼玉Cチームは5位で、埼玉Dチームは8位でした。私自身、まだまだ砂利のテランに翻弄され、本当の実力が付いていないことを実感しました。「芳賀みなみ」選手のように、いつかは日の丸を掲げる選手になろうと決意を新たにしました。帰りのバスの中で、各チーム各人が対戦を振り返りました。遠く岡山まで行き、とても良い体験になった！と皆さん感じたようです。個々に反省する点は置いておいて、とにかく今回は岡山の皆さんに大変親切にして頂き、次回は是非埼玉にお越しいただき、大いに歓迎しながら更に交流を深めたいと思いました。



13位「埼玉Bチーム」の予選風景

(選手会 中村 孝)



8位「埼玉Dチーム」と
7位「キビキビ吉備路チーム」



5位「埼玉Cチーム」と
6位「玉島なかよしチーム」



9位「埼玉Aチーム」

3役も含め、秩父と上尾の参加選手は、学ぶことが多かった」と述懐しきり。

第2回フェデレーション・カップを開催

第2回フェデレーション・カップが、24年1月29日(日)黒田専用テランに於いて32チーム限定により8:30から試合が始まりました。試合方法は、トリプル(男女問わずの3人組)で、公益社団法人日本ベタンク・ブル協会の競技規則に従い実施されました。午前中は、4チームによるリーグ戦で、各ブロック2位まで決勝トーナメントに進出、上位16チームにより、予選の1位と2位が当たるようにして抽選により決勝トーナメントを行ないました。惜しくも上位進出が果たせなかったチームによるふれあい大会も午後に行いました。当日は、午前中は好天に恵まれましたが、午後から凍て

つくような冷たい風が吹きはじめ、寒さの中での対戦となりました。埼玉県の選手は年間数々の大会で顔見知りになり、和気あいあいの中にも、質の高い熱戦が繰り広げられ、大会は無事終了しました。

第3回も皆さんの活躍を期待しております。

(宮崎 三津子)

【大会結果】



第1位 川本B

吉田茂子 興津里子 今泉君子



第2位 役員さんズ

井上勇司 中西明夫 河部耕喜



第3位 坂戸城山

泉忠明 泉恵美子 並木義彦

C級審判員及び初級指導員認定試験を実施

埼玉県ペタンク協会は、公益社団法人日本ペタンク・ブール協会公認のC級審判員認定試験、初級指導員認定試験を実施しました。

C級審判員認定試験は、千野恒夫講師(山梨県)/高木行美講師(神奈川県)をお迎えして2月5日(日)に深谷市川本公民館に於いて行われました。受験生は、暫定C級審判員が12名、新規受験者が48名の合計60名が受験しました。午前、講師の方達より、競技規則をルールブックに照らして、詳しく説明していただき、又、実技は、マーキングの付け方、メジャー、折り尺やコンパスなどの計測器の使い方、計測時の姿勢、方向、審判員としての態度、受け答えを研修しました。様々な質問に対して、解りやすく説明していただき、講師の方より、審判員は「数多く審判を経験すること」「審判員規則を熟知しておくこと」「自信と勇気を持って決断・即断すること」「大会では審判員同士のコミュニケーションが大切」等、沢山の教ををいただき、午後の筆記試験に引き続き、実技試験に緊張感を持って臨みました。結果、受験生全員60名が高得点で合格されました！誠にありがとうございます。

C級審判員資格取得が前提条件である初級指導員認定試験には41名が受験しました。山本久男常務理事、千野恒夫講師(山梨県)/荒井正三講師(東京都)をお迎えして、2月19日(日)深谷市もくせい館に於いて実施されました。初級指導員とは地域社会に於けるペタンクのクラブやグループを対象に、「基礎的知識と技術を指導すると共に普及活動にあたる」ことである。何をどう伝えるか、楽しくペタンクを伝えられるか、言葉の使い方、技術的に欲張って教えないこと等、本当に身が引き締まる思いでお話を伺いました。「資格試験」を受験したことで今まで気が付かなかったことを学び、別の角度から物事を考えることが出来ました。自分自身を前進させるハードルを一つ越えたような気がします。 審判部、指導部の皆様、大変お世話になりました。

(泉 恵美子)



指導員検定会の講師；千野恒夫氏(山梨)



指導員検定会の実技指導の様子

第3回県協会クラブ対抗戦を開催

3月11日(日)三郷市県営みさと公園を会場に、県内各支部協会からの選りすぐりの精鋭(!?)が一同に集い、クラブ対抗戦が開催されました。折しもこの日は東日本大震災から丸1年に当たり、開会式の冒頭で犠牲者に対し黙祷を捧げました。対抗戦は、総数8クラブチームが1試合毎に、シングルス、ダブルス、トリプルス戦を同時進行で行い、3勝若しくは2勝したチームがその試合の勝利という方式でクラブ総当たりの7試合を消化した時点での勝利数、直接対決、勝ちゲーム数で順位を決定しました。6人で戦いきったクラブも有れば、12人で回して余裕を持って戦い抜いたクラブもあり、戦術面の采配が勝敗を分けたような気がしました。また、普通の大会とは趣の異なる楽しい戦いでした。平成24年度は、全クラブチームの参加による対抗戦を楽しみたいと願っています。

【大会結果】



第1位 坂戸市ベタンク協会



第2位 川本ベタンククラブ



第3位 三郷ベタンク協会

～ ベタンク講習会のご案内 ～

私達は、正しいベタンクのルールやマナー、試合方法を理解して頂き、実際にやってみよう!と考える人を増やし、バックアップして行きたいと思っております。埼玉県ベタンク協会指導部は、県内の各市町村に指導者を派遣して講習会を開いています。お気軽に下記までご連絡ください。

連絡先：〒369-1105 埼玉県深谷市本田 128 - 2

指導部部長 井上まち子 TEL : 048-583-5115 Fax : 048-583-5330

編集後記

平成二十三年度から、広報部はHP以外に広報誌を作成することになりました。年度当初は、その編集の方法や印刷、会員やスポーツ振興課などの関係団体への発送など、手間のかかることを考え、四号がやっとなかると考えていました。しかし、年間計画されている埼玉県のいろいろな行事を網羅するには、六号必要ではないかということで、六号発行で、予算化し、発行してきましたが、十月頃に、どうしても全てを入れられないことが分かり、予算も不足する中でしたが、もう一号多く発行することにしました。二十三年度は七号発行にすることにしました。七号は、手元に届くのが遅くなり、大変恐縮しています。一年目としては、広報部はかなり努力しました。無理もあつたと思います。しかし、中身は大会の結果が多くなり、広報誌としての記事の工夫を求められています。発行しながら、変更も繰り返し、できるだけ二冊に合った紙面を作っていきたいと考えています。

来年度は、A4版で6頁、六号発行をめどに取り組んでいきます。ご期待ください。

(広報部長 中村孝)